

第7回地域づくり政策セミナー



コロナ禍における市民生活の「安全・安心」を確保するうえで、社会インフラの量・質、代替機能の低下等に対する迅速かつ的確な対応が喫緊の課題となっています。

本セミナーでは、近年の被災状況、特に令和2年7月豪雨対応を踏まえながら、九州における河川及び道路の災害復旧状況等をご紹介するとともに、防災・減災等の観点から、コロナ禍の市民生活における災害への備え等を模索するため、各方面の有識者や専門家からの知見をご紹介致します。

日時 令和3年1月18日[月] 13:00~17:00 (開場 12:00)

会場 TKPガーデンシティ博多新幹線口 5F プレミアムホール

[定員] 会場80名
Web200名

※申込方法は裏面をご確認願います。

内容

挨拶 13:00

- 【開会挨拶】(一社)九州地域づくり協会 理事長 田中 慎一郎
- 【来賓挨拶】国土交通省 九州地方整備局長 村山 一弥 氏

基調講演 13:10~14:00

- ◆「近年の激甚災害と地域ぐるみの防災対策のあり方」 東京大学名誉教授 虫明 功臣 氏

事例報告 14:00~15:00

- ◆「九州における防災対応」 国土交通省 九州地方整備局 総括防災調整官 光武 孝弘 氏
- ◆「令和2年7月豪雨を振り返って」 人吉市長 松岡 隼人 氏
- ◆「地域住民への危機管理意識の啓発・高揚」 九州大学 男女共同参画推進室 准教授 杉本 めぐみ 氏

パネルディスカッション 15:15~17:00

- ◆「近年の激甚災害から得られた教訓」

- 【コーディネーター】九州大学大学院 工学研究院附属アジア防災研究センター 教授 三谷 泰浩 氏
- 【アドバイザー】東京大学名誉教授 虫明 功臣 氏
- 【パネリスト】人吉市長 松岡 隼人 氏
- 九州大学 男女共同参画推進室 准教授 杉本 めぐみ 氏
- (公財)九州経済調査協会 事業開発部長 岡野 秀之 氏
- 国土交通省 九州地方整備局 企画部長 堂園 俊多 氏

◆主催/一般社団法人 九州地域づくり協会

◆後援/国土交通省 九州地方整備局、一般社団法人 九州経済連合会
公益財団法人 九州経済調査協会、九州商工会議所連合会

※本セミナーは、土木学会 継続教育認定プログラムです。

基調講演 <13:10~14:00>



「近年の激甚災害と地域ぐるみの防災対策のあり方」

東京大学名誉教授／福島大学名誉教授

虫明 功臣 氏

MUSIAKE Katumi

アドバイザー

水文・水資源学会会長、アジア太平洋水文水資源協会事務局長、(独)科学技術推進機構・戦略的創造研究推進事業「水循環研究領域」研究総括などを歴任。

また、国土交通省・社会資本整備審議会委員、同国土審議会委員、(公社)日本河川協会会長などを歴任。

専門は水文水資源工学。

代表的な著書は「水環境の保全と再生」(共著、山海堂)、「水資源マネジメントと水環境」(共訳、技報堂)、「ダムと緑のダム」(監修・共著、日経BP)など。

事例報告・パネルディスカッション <14:00~17:00>

パネルディスカッション

テーマ: 近年の激甚災害から得られた教訓

コーディネーター



九州大学大学院
工学研究院
附属アジア防災研究センター
教授

三谷 泰浩 氏

MITANI Yasuhiro

平成29年7月九州北部豪雨に際して、九州大学災害復興支援団の団長として、朝倉市、東峰村の災害の復旧・復興に携わる。

主たる研究は、地理空間情報を活用した環境と調和した開発、建設技術のあり方、地域防災に関する研究を実施。

パネリスト

(公財)九州経済調査協会
事業開発部長

岡野 秀之 氏

OKANO Hideyuki

1997年に入社し、調査研究部長などを経て、2018年4月より現職。専門は、地域経済論、産業配置論、地域産業政策論。2014年~2016年版九州経済白書の総論を担当。

事例報告 パネリスト



「令和2年7月豪雨を振り返って」
人吉市長

松岡 隼人 氏

MATSUOKA Hayato

2007年5月、人吉市議会議員(1期目)
2011年5月、人吉市議会議員(2期目)
2015年5月、人吉市長(1期目)
2019年5月、人吉市長(2期目)

パネリスト

国土交通省九州地方整備局
企画部長

堂 蘭 俊多 氏

DOUZONO Shunta

2019年7月より現職。九州地方整備局において統括防災官とともに災害対応を総括し、主に国土交通本省や各地方整備局、九州内の各省庁との調整役を務める。

事例報告 パネリスト



「地域住民への
危機管理意識の啓発・高揚」

九州大学男女共同参画推進室
准教授

杉本 めぐみ 氏

SUGIMOTO Megumi

専門は防災教育、災害リスクマネジメント。在インドネシア日本国大使館経済班で2004年スマトラ沖津波の復興と防災に携わる。東大地震研究所等を経て2014年より九州大学。西日本新聞に「後悔しない備え」を連載中。

事例報告

「九州における防災対応」

国土交通省九州地方整備局
総括防災調整官

光武 孝弘 氏

MITSUTAKE Takahiro

2020年4月より現職。災害時のTEC-FORCE派遣、関係機関との連携体制構築など、九州地整の防災業務に従事。

【留意事項】

- ・コロナ感染症対策を講じての開催となりますので、参加人数の制限及び受付処理の簡素化に配慮して、Webのみの事前申し込みとさせていただきます。
また、懇親会の開催はございません。あしからずご了承下さい。
- ・会場入場時、非接触型体温計による体温測定を行い、発熱症状が認められた場合は、入場をお断り致します。
また、マスク着用を必須条件とし、着用がない場合は入場をお断り致します。

【定員】（※いずれも先着順と致します。当日受付は出来ません。）

- ・会場受講者：80名
- ・Web受講者：200名（※CPD付与は、九州・山口県内の方を対象と致します。）
※Zoomウェビナー配信となるため、対象者はZoom操作が対応可能な方と致します。

【申し込み方法】

Webのみの申し込みと致します。（※電話及びFaxの受付は致しません。）

以下の（一社）九州地域づくり協会ホームページ上より、申込フォームに必要事項をご入力の上お申込み下さい。

※当協会ホームページ：<http://www.qscpua.or.jp/>

- ・会場受講者：後日、QRコードをメール致します。当日は会場受付でご提示下さい。
- ・Web受講者：後日、セミナーを受講するためのURL等をメール致します。
当日は、それを用いてセミナー受講の事前準備をお願い致します。

【CPD】

本セミナーの土木学会CPDプログラム認定単位は3.7です。

- ・会場受講者は、セミナー終了後、アンケートと引き替えに受講証明書をお渡し致します。
- ・Web受講者は、Web配信最後の効果測定アンケート回答が必須条件となります。

このため、所定の入力フォームに基づき、入力漏れや文字数制限等に配慮してご入力頂いた後、当方にて受講の通信記録及びアンケート内容を確認後、効果測定が確認できた方へ証明書を登録住所へ送付致します。

【会場アクセス】

TKP ガーデンシティ博多新幹線口 プレミアムホール

〒812-0012福岡県福岡市博多区博多駅中央街5-14 福さ屋本社ビル 5F



【問合せ先】

（一社）九州地域づくり協会

企画部企画課 松井、秀徳(シュウトク)

TEL：092-476-5680

E-mail: matsui@qscpua.or.jp

コロナ感染予防の取組にあたり次のことについてご協力をお願いいたします。

【※会場での受講を希望される方へ】

1. 会場内でのマスクの着用。(マスクを着用されていないお客様はご入場いただけません)
2. 入場時入口での消毒液による手指の消毒。
2. 会場入場時の検温(非接触)。(37.5度以上の発熱症状が認められた場合は、ご入場をお断りいたします。)
3. ご来場いただく日からさかのぼって14日前からご来場当日にかけて以下に該当される方は、ご来場をお控えください。
 - ・新型コロナウイルス感染症の兆候で、いずれかの症状がある場合(発熱、咳、息苦しさ(呼吸困難)、強い倦怠感・疲労感)
 - ・体調がすぐれない場合(味覚、嗅覚異常、強い疲労倦怠感など)
4. 以下に該当する方は、誠に恐縮ですがご来場をお断りいたします。
 - ・新型コロナウイルス感染症の陽性者とその濃厚接触者であるなど、保健所などの健康観察下にある場合。
 - ・海外から帰国後14日間を経過していない方(当該期間に帰国した方と接触した場合も含む)。

※ 持病、妊娠、体調など不安のある方は、Webでも受講が出来ますのでご利用ください。
(ただし、Webでの受講にはZoomの操作が必要です)

コロナ感染を防ぐため何卒ご協力をお願いいたします。